



私の小径

出来ることはこれからも続けていきたい。
家族に支えられながら、100歳を夢見ます。

折館 トスイさん 大正8年生まれ 97歳 / 十和田市出身



ママ(桂子さん)とみちのく十二林ショートステイでの話題に花が咲きます。

折館トスイさんは、「みちのく十二林ショートステイ」と「みちのく金谷デイサービスセンター」を利用し、自宅で生活しています。

トスイさんは十和田市で生まれ、7歳の時に親の仕事の関係で近川に移り住み、奥内の小学校を卒業後は、母親と一緒に畑や田んぼ、山菜採りに行くなどして生活してきました。

18歳の時に製材所に勤務していた10歳年上の夫と結婚、近川で田畑を耕しながら5人の子ども達を育てます。子ども達が独立してからもトウモロコシやジャガイモなど作り続け、近所の方の協力もあって90歳まで畑を離れませんでした。

しかし夫婦ともに高齢になったことや体調不良の訴えも多くなり、心配した長男夫婦の提案もあって一緒に生活することを決めました。

同居をきっかけに介護サービスの利用も開始しました。当初は月に数日の「みちのく十二林ショートステイ」の利用でしたが、施設で友人ができるごとに日数も増えていき、今では月に20日間程利用しています。

「みちのく十二林ショートステイ」に行くことがとても楽しみなトスイさん。毎年正月は自宅で迎えていましたが、今年の正月は友人と過ごしたいと考えて「みちのく十二林ショートステイ」で年を越しました。

また、毎回利用前には「仕事しざ行くんだよ」と家族に話します。

「自分の仕事ってことはないんだけど、いつも友人から手伝ってと言われると、一緒に洗濯を畳むの。」

畑仕事の代わりに、洗濯物を畳むことが今の仕事です。

家族の支えもあって、普段から健康にも気遣います。自宅にいる時は椅子に座っていることが殆どのため、「みちのく十二林ショートステイ」ではわざと食堂から離れた部屋を希望しました。できるだけ歩くように心がけているおかげで、97歳の今も自分の足で歩きます。

自宅の食事も、高齢のトスイさんを配慮し、畑で採れた野菜をふんだんに使った栄養満点の料理が食卓に並びます。気持ちのこもった料理を残さず食べることも元気の秘訣です。

「パパとママ(長男夫婦)のおかげで長生きしている。」

トスイさん。同居を提案してくれたことにも感謝しています。

「自分の身体に任せるけど、この間100歳まで生きる夢を見たから、きつと100歳まで生きると思っ。」

と目を細めながら笑います。

家族の温もりを身近に感じながら、100歳に向けて一日一日を大切に過ごしていきます。

記 / 松山 夕紀

第3回 食と農と福祉の連携

下北の人口減少問題に どう対応していくか

健康・福祉、婚活、産業、地域づくりの観点から考える

講師 / 神 重則氏 (青森県下北地域県民局長)

2016年7月9日(土)

場所 / プラザホテルむつ(むつ市下北町2-46)

1F プラザホール

時間 / 13時30分～16時(開場13時)

主催 / 社会福祉法人青森社会福祉振興団
後援 / 青森県下北地域県民局



講師紹介
神 重則(じんしげのり)氏

青森市生まれ。弘前大学人文学部経済学卒業。
昭和55年に青森県職員に採用。用地・補償、国有財産(管理・訟務)、人事、職員広報誌、服務・研修、職員厚生、原子力・エネルギー、市町村行政指導、市町村合併、県境再生対策等の業務を担当。

その後、国際交流推進課総務課参事、(財)むつ小川原地域・産業振興財団事務局長、青少年・男女共同参画課長、県民生活文化課長、県境再生対策室長、下北地域県民局地域連携部長を経て、平成28年4月より下北地域県民局長に就任。
平成27年4月から、RABラジオ毎週土曜日16時から放送の「こちら松森一丁目らじお倶楽部」の下北情報担当としてレギュラー出演中。

当法人では、地域における食や農といった魅力ある地域資源を福祉とつなげ、地域の方々と共に考える機会として、シンポジウムや特別講演を開催しています。第3回目となる今回は、青森県下北地域県民局長の神重則氏を講師に迎え、下北地域の人口減少問題をテーマにした講演会を開催します。

人口減少は全国的な現象です。その社会への影響としては購買力の低下や求職者の減少などが挙げられ、地域経済を衰退させます。年金財政や将来の税負担を考えると見過ごすことができません。下北地域も他地域と同様に人口減少が深刻な課題です。

健康への意識不足、若者の流出、子どもを生む年代の女性人口の減少、未婚率の上昇...この状況を理解し、そしてこれから先の健康づくり・福祉・婚活・産業・地域づくりについて、「自分たちで行動できることはないか」を考えるきっかけになればと思います。

当日は「みちのく城ヶ沢フードセンター」の真空調理品の販売も行います。入場は無料です。たくさんのご参加をお待ちしております。

●講演に関する問い合わせ
社会福祉法人 青森社会福祉振興団
(特別養護老人ホームみちのく荘)
TEL / 0175(23)1600
担当 / 中山 暁(なかがやま あきら)



やさしい街づくりを応援しています。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社
ニッシヨク
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話 (0175) **22-7222**
FAX (0175) **22-7081**

コンサート、展示会、会議・研修、料理教室、楽器練習、サークル活動……

様々な用途でお役にください。

下北文化会館 指定管理者 株式会社東京堂
〒035-0072 むつ市金谷一丁目10-1
tel 22-8411 fax 22-8414 http://shimobun.com

ボディカラーは、選べる多彩な15色
あなたの好みの色がきっと見つかります。

株式会社 むつ日産

むつ市大字田名部字新川 / 内装本110-4 TEL 0175-22-2284

2016年7月30日(土)
みちのくフェスティバル開催!!

7月30日(土)、十二林みちのく荘敷地内において「みちのくフェスティバル」を開催します。昨年行った夏祭りより、規模を拡大して行う予定です。

小さい子どもからお年寄りまで楽しんで頂ける内容を企画中です。多数お誘い合わせの上ぜひご来場ください。詳細は、後日チラシやみちのく荘のホームページでお知らせします。

《問い合わせ》
特別養護老人ホームみちのく荘
TEL / 0175(23)1600
担当 / 佐渡

デイナの日記



出身地 インドネシア共和国
スマトラ島/メダン
(ジャカルタ市から飛行機で2時間)
趣味 カラオケ、料理

みちのく荘にきて6カ月くらいたちました。雪の降らないところからきたので、初めて雪を見た時はうれしくなび、くりしました。春になつてからはインドネシアから来たお花見に行、たり、しお干狩りに行、たり散歩にでかけたりまするようになりました。

早番の日は朝4時に起きてイスラムのお祈りをします。お祈りは1日5回あるので、仕事もお祈りをします。仕事は少しづつでできることが増えました。けど、利用者さんの方言が分からなかつたり、記録を作るのはまだ大変です。ラマダンが終わるとお祭りがあるので、来年はインドネシアの家族とお祭りを楽しめよう頑張、ていきたいと思っています。

●デイナの自筆です。

デイナ・アンドリアニさん(通称デイナさん)はインドネシアとのEPA(経済連携協定)第7期生として、昨年12月に来日した介護福祉士候補生です。デイナさんは両親・祖母・弟の5人家族です。普段はパソコンのビデオ通話でしか会うことが出来ないため、来年度の断食明けのお祭りに合わせて家族に会いに行くことが今の夢です。手作りのインドネシア料理や同郷のイラさん、ナニさんと過ごす時間がデイナさんの寂しい気持ちを忘れさせてくれます。家族と再開できる日を楽しみに、笑顔を決やらず頑張っています。

〈編集委員〉



関野準一郎記念
まるめろ美術館ご案内
こうげい展
— 関野準一郎・北海道の追憶 —
期間 / 2016年6月3日～2016年9月27日
閉館時間 / 10:00～16:00
休館日 / 水曜・木曜・日曜・祝日・年末年始



★シンチャオ! ベトナム滞在記 — フエ「健康フェア」大成功 —

シンチャオ!! (ベトナム語で「こんにちは」の意味) 今回は4月29日に開催された「健康フェア2016」について報告します。

「健康フェア2016」は、2年に1度開催されるフエフェスティバルに合わせて行われました。私たち「介護人材養成コース」もブース出展し、企画・準備・運営・運営を生徒たちが全て一から行い、どうすればフエの人たちに、新しい分野である「介護」を広くPR出来るかを考えました。

当日は多くの人が私たちのブースを訪れ、病院での介護実習で高齢者に好評だった。ハタカラ体操(口腔ケア体操)や、ボールを使った簡単なゲームは大人気でした。日本文化コーナーでは、浴衣を着た生徒たちによる日本式の挨拶の実演や、日本の食文化が長寿に影響を及ぼしているナツを紹介しました。中でも「塗り絵」に興味を持つ来場者が非常に多く、浮世絵や富士山、アニメの塗り絵コーナーはフエアの最後まで人で溢れ、「介護人材養成コース」のブースは大成功でした。



「介護サービス」という考え方がまだ十分でないベトナム。生徒お手製の「介護紹介マップ」を作成して「介護」を猛アピールしました。

ベトナムでは、子が両親の世話をするという声は圧倒的で、他人に介護を頼むことは伝統的な考え方に反することから、介護サービスに対して懐疑的です。実際、今回私たちのブースに来場された約200人に話を伺って見たところ、両親の世話は自分ができるから介護サービスはいらないという意見もありました。

しかし同時に、「今後ベトナムの高齢化は急加速する、施設を含めて介護サービスが必要だ」「介護を専門的に行う人材を多く養成する必要がある」「安心して、両親を預けられる施設が欲しい」などと、介護という専門分野があれば利用したいという声もあり、今後の私たちのベトナムでの事業にも大きな光になると感じました。

(記) フエ事業所・向井正太

社会福祉法人 青森社会福祉振興団 2017年新卒採用募集を開始します!

当法人では、医療・福祉・食のトータルケアを目指し、「みちのくクリニック」「みちのく城ヶ沢フードセンター」の設立、そしてベトナムに事業所を設立するなど、福祉の未来を見据えた事業を展開しています。そしてこれからも、地元を大切にしながらも、県内に留まることなく県外・海外へと事業を拡大する予定です。



当法人では経験や役職に応じた研修、自主的に受けた研修へのバックアップ制度もあり、職種に関係なくスキルアップを図ることができます。成長・活躍の場はたくさんあります。私たちと共に、新たな福祉の未来を考え、創っていきませんか? 求人の詳細及び求人票は、みちのく荘のホームページをご覧ください。

※高校生の求人については、自高校の進路指導もしくはハローワーク(7月1日以降情報公開)を通して行うことになっています。

◆2017年度新卒募集職種
介護職/正看護師/理学療法士/作業療法士/言語聴覚士/調理員/事務員/営業職

《問い合わせ》
社会福祉法人 青森社会福祉振興団/人材部(人事セクション)
TEL/0175(23)1600

2016年度新人職員を紹介します!!

今年度、当法人に9人の新たな仲間が加わりました。入社して早3カ月、フレッシュな彼らに「利用者へ届けたいこと」を聞きました。利用者さん、家族の皆さま、介護の現場で日々奮闘している彼らをどうぞよろしくお願ひします。

- 記載順: 氏名/職種/出身校
- ① 藤田瑞生 / 介護職 / むつ工業高等学校
「自分らしさを大切に、笑顔届けます!」
- ② 対馬優太 / 調理員 / 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ
「美味しい食事を提供出来る様に頑張ります!」
- ③ 佐佐木あかり / 介護職 / 北日本医療福祉専門学校
- ④ 畑中風沙 / 介護職 / 東奥保育福祉専門学校
「いつどんな時も支えになれる様に頑張ります!」
- ⑤ 加藤愛里 / 介護職 / 大間高等学校
「不安はありますが、笑顔で明るく元気に頑張ります!」
- ⑥ 中新健希 / 介護職 / 青森明の星短期大学
「笑顔で明るく頑張るので、よろしくお願ひします!」
- ⑦ 釜田妃美樹 / 介護職 / むつ工業高等学校
「自分なりに一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします!」
- ⑧ 水谷亮介 / 介護職 / 田名部高等学校校定時制
「みなさまのお役に立てるように一生懸命頑張ります!」
- ⑨ 堺香菜 / 介護職 / むつ工業高等学校
「明るく可愛く元気に可愛く笑顔も可愛くけっっぱるど! (けっっぱる / 頑張る)」



やさしい街づくりを応援しています。

し尿収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業一般・産業廃棄物収集運搬業
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業

谷川環境衛生開発(株)
代表取締役社長 谷川 聡

本社: むつ市新町 41-1
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783
フリーダイヤル 0120-12-2659

快適な環境づくりのお手伝い

- 介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
- 住宅改修

株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横迎町 2-9-13
TEL 0175-22-9511

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。

ENEOS グローブエナジー株式会社
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店: むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

青森県議会環境厚生委員会 一行が来園

先月の25日、青森県議会環境厚生委員会(委員長・越前陽悦議員)に所属する13名の委員の皆さまが来園しました。

医療と福祉の融合された「みちのくメディカルケアセンター」の見学をはじめ、「みちのく金谷デイサービスセンター」の利用者の様子や、当法人が介護の現場で応用しているICT機器などを視察しました。